

令和6年第8回函館市教育委員会定例会 会議録

- | | |
|--------|---|
| 1 日 時 | 令和6年(2024年)8月5日(月) 午後1時30分 |
| 2 場 所 | 市役所本庁舎8階第1会議室 |
| 3 出席者 | 藤井教育長, 木村委員, 小葉松委員, 國谷委員, 神田委員 |
| 4 欠席者 | |
| 5 事務局 | 土生生涯学習部長, 堤学校教育部長, 横田生涯学習部次長,
宮田生涯学習部次長, 金野教育政策推進室長, 川崎管理課長,
佐藤学校教育課長, 酒井教育指導課長, 兵吾保健給食課長 |
| 6 傍聴者 | 0人 |
| 7 付議事項 | 別紙議事日程のとおり |

■藤井教育長

- 開会宣言 午後1時30分
- まず, 日程第1, 議事録署名人の指名について, 木村委員, 小葉松委員を選任する。
- 本日の日程のうち, 日程第5 議案第1号「教職員の懲戒処分の内申に関し, 議決を求めることについて」から, 日程第11 報告第6号「令和7年度(2025年度)使用中学校用教科用図書および令和7年度(2025年度)使用学校教育法第9条に規定する教科用図書採択に関し, 議決を求めることについて」までを「非公開」としたいが, いかかか。

(異議なし)
- 異議がないので, 「非公開」とする。
- 次に日程第2, 月間事業報告について, 事務局の動きについて報告を求める。

■生涯学習部長

- 7月24日だが, この日から入船町前浜海水浴場がオープンしており, また小中学校・義務教育学校が夏季休業に入っている。
- 7月27日だが, 市立函館高校の夏季休業が始まっているほか, 同日に函館盛岡交流啄木かるた大会が開催された。

■藤井教育長

- 次に, 日程第3, 報告第2号「令和6年度全国学力・学習状況調査の結果概要について」学校教育部長から説明を求める。

■学校教育部長

- 今年度は国語, 算数・数学の2教科が実施された。小学校国語の正答率が66%, 全国比-1.7%, 算数の正答率が58%, 全国比-5.4%, 中学校国語の正答率が54%,

全国比－4.1％，数学が47％，全国比－5.5％，という結果であった。

- 平均正答数で比較すると，全ての教科で，全国との差が0.9ポイント以内となっている。平均正答率で比較すると，全ての教科で，全国との差が5.5ポイント以内となっている。
- 昨年度の結果と比較し，全国平均正答率の差は，ほぼ同等の結果となった。この後，さらに詳細な分析を行い，市教委としての取組に生かしていきたいと考えている。
- 続いて，質問調査等の結果から，特に函館市の児童生徒の特徴として考えられる項目において，推察される成果と課題について説明する。各教科とも全国や全道の平均正答率に大きな差はないが，引き続き努力が必要であること。授業中に1人1台端末を有効に活用することができていること。いじめは許されないという意識をもつ児童生徒が多いこと。家庭での学習時間が短く，学習内容を振り返り，自分で学び方を考え，工夫することに課題があることの4点が特徴として見受けられた。
- 次に，質問調査の結果から見える成果について説明する。「5年生のとき，中学生は1，2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて，次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。」という設問の中の，「分からないことがあった時に，すぐ調べることができる」という質問に，「とてもそう思う」と回答した児童生徒が，小学校で62.0ポイント，中学校で63.8ポイント，「友達と協力しながら学習を進めることができる」という質問に，「とてもそう思う」と回答した児童生徒が，小学校で51.7ポイント，中学校で40.6ポイントと全道・全国と比較して高い傾向がある。
- また，学校が回答する学校質問調査において，1人1台端末など，ICT機器を活用した授業を行っている学校と回答している学校の割合が高い傾向にあり，1人1台端末を効果的に活用している状況が見受けられる。
- 次に，「いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という質問に「当てはまる」と回答した児童生徒は，小学校で87.9ポイント，中学校で83.8ポイントと，高い傾向にある。学校質問調査においても，児童生徒に対して，「特別の教科道徳において，取り上げる題材を児童生徒自らが自分自身の問題として捉え，考え，話し合うような指導の工夫をしている」と回答している学校の割合が高い傾向にあることから，指導の効果が表れているところである。各学校が，授業で1人1台端末を効果的に活用し，児童生徒一人ひとりに寄り添った，きめ細かな学習指導をしていることや，いじめはどんな理由があっても許されないことであるという意識をもつ児童生徒が多いことが，成果である考える。
- 教育委員会としては，今後，児童生徒が，1人1台端末の一層の利活用により，「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る授業改善が推進されるよう，各学校に働きかけていく。また，引き続き「いじめ等の問題を考える集会」の取組等を通じて，いじめの未然防止，早期発見・早期対応に努めていく。
- 児童生徒質問調査の結果から見える課題について説明する。学校の授業時間以外に，月曜日から金曜日までの間，1日当たり小学生で1時間以上，中学生で2時間以上勉強をしている児童生徒の割合は，小学校で49.3ポイント，中学校で23.5ポイントとなっており，全国と比較すると，低い傾向にある。
- また，放課後や休日の過ごし方については，「放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか」という質問に対して，「家でテレビや動画を見たり，ゲームをしたり，SNS

を利用したりしている」と回答した児童生徒の割合が、小学校では82.3ポイント、中学校では92.1ポイントという回答があり、児童生徒が放課後や週末に、長時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などを行っている実態が見られる。

- 一方で、「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」という質問に対して、「きちんと守っている」と回答した児童生徒の割合が、小学校では43.4ポイント、中学校では36.1ポイントとなっており、全道・全国に比べ、高い傾向も見られる。
- 携帯電話・スマートフォンの使い方について、家の人との約束を守っていると回答している割合が多いにもかかわらず、学習以外でのICT機器の利用の割合が、全道・全国と比較して高い傾向にあることから、児童生徒の放課後の過ごし方に課題があることや、家庭でのルールの再確認が必要であると考えている。今後は、1日の生活時間や、放課後の過ごし方についての見直しを家庭に働きかけていくとともに、家庭での学習に、1人1台端末をより一層活用できるよう、効果的な端末の活用実践例を紹介するなどし、望ましい学習習慣の定着を図っていきたいと考えている。最後に「その他の特徴」として全国および全道と函館市の結果を比較した項目の中から着目したい項目4点について、3枚目に記載している。

■藤井教育長

- 報告第2号について、何かあるか。

■木村委員

- 「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うか。」という質問に函館の子ども達が、例年高い傾向にあり「だめだ」と言っている。道徳の授業やいじめを考える集会、学級活動、いろんなところで、たしかに現場でやっているの、そういうところが、函館の子ども達の評価につながっているんだ。改めて、フィードバックというか、自分たちの学校は、全道全国よりもいじめをだめだと思える生徒が多いんだよねというのが、自校で共有できるような、そういうことで、いじめに対する認識というのが深まっていくのかなと、現役時代から思っている。いじめ問題というのは、大変な思いを現場の先生方もしているが、函館もゼロではないかと思うが、目に見えるかたちで、君たちはこう思っている、この学校はこういうように思っている生徒が多いっていうのがわかると、プラスのメッセージになるのかなと。

■学校教育部長

- 各学校へしっかりと返していくことが重要かと考えている。いじめの部分は函館市の大きな特徴かと思うので、校長会、教頭会を通じて、各学校の状況を伝えていくとともに、子ども達にもこういった意識が高いということを伝えていきたい。

■藤井教育長

- 私から1点。今回も、平均正答率は全道、全国を上回ることが出来なかったが、これを見ると、例えば小学校算数では、16問中、全国は10.1問で、函館は9.2問であった。16問中の0.9問低い。それくらいのものだということ。これが大きいのか小さいのかということはあるが、それよりも、質問調査の方に課題が見えてきているように思う。

■藤井教育長

- 次に日程第4，議案第7号「令和6年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載に関し，議決を求めることについて」学校教育部長から説明を求める。

■学校教育部長

- このたび，北海道教育委員会より「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載に関する照会があったところである。この照会とともに，調査結果の公表に関して，文部科学省の実施要領に基づき，市町村教育委員会や学校が，保護者・地域住民に対して説明責任を果たすことが重要であるとの北海道教育委員会の考え方も示されているところである。函館市教育委員会としても，設置管理者としての責任と権限を有しており，自らの施策の現状と成果の一つとして，調査結果を分かりやすく公表するとともに，施策の改善につなげていくことが重要と判断し，「北海道版結果報告書」へ函館市の調査結果を掲載することについて，お諮りする。なお，議決をいただいた後，別紙のとおり，本市の結果の掲載に同意する旨，北海道教育委員会へ回答したいと考えている。

■藤井教育長

- 議案第7号について，何かあるか。

■國谷委員

- 道内で公表しないという市はあるのか。

■学校教育部長

- 北海道内では全て公表となっている。

■國谷委員

- 承知した。

■藤井教育長

- 他になにかあるか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 議案第7号について，原案のとおり決定する。

- 次に日程第5，議案第1号「教職員の懲戒処分の内申に関し，議決を求めることについて」学校教育部長から説明を求める。

(非公開につき，会議録省略)

■藤井教育長

- 議案第1号について，原案のとおり決定する。

- 次に日程第6，議案第2号「教職員の懲戒処分の内申に関し，議決を求めることについ

て」学校教育部長から説明を求める。

(非公開につき、会議録省略)

■藤井教育長

○ 議案第2号について、原案のとおり決定する。

○ 次に日程第7、議案第3号「令和6（2024）年度教育費補正予算要求に関して」生涯学習部長から説明を求める。

(非公開につき、会議録省略)

■藤井教育長

○ 議案第3号について、原案のとおり決定する。

○ 次に日程第8、報告第1号「令和5年度（2023年度）一般財団法人函館市学校給食会決算の報告について」学校教育部長から説明を求める。

(非公開につき、会議録省略)

■藤井教育長

○ 次に日程第9、議案第4号「令和7年度（2025年度）使用小学校用教科用図書採択に関し、議決を求めることについて」学校教育部長から説明を求める。

■学校教育部長

○ 現在使用中の小学校用教科用図書は、令和5年度に採択いただいたところである。このたびは、令和7年度（2025年度）に使用する小学校用教科用図書採択について議決を求めるものであるが、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条の規定により、政令で定める期間、毎年度、種目ごとに同一の教科用図書を採択するものとされていることから、現行と同じ教科用図書を使用する採択をお願いするものである。

■藤井教育長

○ 議案第4号について何かあるか。

(意見なし)

■藤井教育長

○ 議案第4号について、原案のとおり決定する。

○ 次に日程第10、議案第5号「令和7年度（2025年度）使用高等学校用教科用図書採択に関し、議決を求めることについて」学校教育部長から説明を求める。

■学校教育部長

○ まず、市立函館高等学校において使用する教科書については、4ページの実施要綱、5ページの基本方針に基づき、校長が選定をした上、教育委員会で採択を行うこととなっている。次に、本年度の選定の経過についてご説明する。選定に当たっては6ページの教科書の採択に関する観点に基づき、校内に設置した教科書選定委員会において、調査研究を

行ってきた。その調査研究に基づき、校長が選定した結果を1ページから3ページの「使用教科書に係る選定結果報告書」として整理したところである。「使用教科書に係る選定結果報告書」には、選定した教科書名および発行者や主な選定理由等を記載している。以上のような経過で、市立函館高等学校において次年度使用の教科書の選定を行ったので、採択をお願いする。

■藤井教育長

- 議案第5号について何かあるか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 議案第5号について、原案のとおり決定する。

- 次に、日程第11、議案第6号であるが、ここで函館市中学校用教科用図書選定委員会の委員長、副委員長および各小委員会の委員長、副委員長の出席を求める。

(委員長、副委員長 入室)

- それでは、日程第11、議案第6号、「令和7年度(2025年度)使用中学校用教科用図書および令和7年度(2025年度)使用教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する教科用図書採択に関し、議決を求めることについて」学校教育部長から説明を求める。

■学校教育部長

- 現在使用中の中学校用教科用図書は、令和2年度に採択されたものであるが、このたび、令和7年度に使用する中学校用教科用図書および一般図書について採択をお願いするものである。

- 中学校用教科用図書選定委員会の活動についてだが、議案に添付している答申資料をご覧願う。6月7日の総会において、正・副委員長を選出し、教育委員会からの諮問の後、小委員会を設置した。7月11日、12日に小委員会において、教科書見本等について、調査・研究を行い、それをもとに答申資料の作成を行ったところである。なお答申については、7月12日付けで行われている。そのほか、6月14日から南北海道教育センターにおいて開催した教科書展示会で提出された意見具申書の一覧を参考資料として、配付している。また、本日の採択の進め方であるが、本日は、選定委員会の田上委員長、橋本副委員長の他、各小委員会の正副委員長が出席しているので、答申の内容について、説明いただき、その後、教育委員会として協議のうえ、採択をいただきたいと思う。

■藤井教育長

- ただいまの説明について、何かあるか。

(意見なし)

■藤井教育長

- まずは、選定委員会 田上委員長、説明願う。

■田上委員長

- 私から、調査研究に伴う、これまでの流れについて説明する。7月11日および12日に南北海道教育センターにおいて選定会議を開催し、各教科および一般図書の小委員会において、調査・研究を行ったのち、答申資料を作成し、各小委員会委員長から、選定委員会の委員長、副委員長に対して、調査研究のまとめについて報告をいただいた。各小委員会においては、発行者から送付された新たな見本本について、函館の子どもの実態や学力の状況を踏まえつつ、公正・公平な視点で調査研究を行い、それぞれの教科書の特徴を捉え、答申資料を作成した。教科書選定における調査研究の視点としては3点ある。1点目は、単元や一単位時間において、どのような力を身に付けるのかが明確な教科書、2点目は、主体的に学習に取り組むことができる教科書、3点目は、実社会や実生活との関連が図られている教科書である。
- 資料については、道教委作成の採択参考資料を活用するとともに、保護者や学識経験者の意見も十分に聞きながら、教科書選定における調査研究の3つの視点について、「その他」の欄に示しているものである。
- こののち、各小委員会の正副委員長から、説明・答申するが、時間が限られていることからポイントを絞って各者の特徴等について説明する。

■藤井教育長

- それでは、選定委員会から答申の内容について説明願う。説明後に質疑を行う。

■中田小委員長（国語科）

- それでは、各者の特色を簡潔に説明させていただく。まず、東京書籍の教科書、1年生の教科書の巻末をお開き願う。「言葉の力一覧」が載っており、3年間の見通しをもつことができる。さらに、各教材の手引きである「言葉の力」によって身に付ける学びの流れが具体化され、生徒一人ひとりが授業の展開を把握できる工夫がなされていることが特徴である。
- 次に、三省堂の教科書、1年生の教科書228ページをお開き願う。カラーユニバーサルデザインに対応することで、色覚の特性を考慮し、生徒一人ひとりが見やすく、学びやすい工夫がなされている。また、著名人などの教材に加え、日常生活や現代社会における課題を取り上げることで興味関心を高める工夫がなされていることなどが特徴である。
- 次に教育出版、1年生の教科書292ページをお開き願う。アイヌの歴史文化や北海道の自然、さらに、函館の方言を扱った教材が配置され、函館市で暮らす中学生が、学びを通して地域を知り、考え、実生活や実社会との関連を強く意識することができる工夫がなされていることなどが大きな特徴である。
- 最後に光村図書、1年生の267ページをお開き願う。「語彙ブック」では、思考や表現を支える言葉が学年ごとに配置され、主体的に語彙を増やし、語感を磨く工夫がなされていることなどが主な特徴である。
- その他に、小委員会では教育出版については、発達段階に応じて、教材が適切に配置されていること。また、東京書籍は、小学校から中学校へのスムーズな移行が図られていることなどが特色として挙げられた。さらに教育出版は、教科書44ページの主体的な学びに関わる取り扱いについて、教材ごとに配置された「学びナビ」「みちしるべ」によって、学習の見通しと指導事項に沿った学習目標が明確に示され、振り返りをしながら、次

の学びにつながる工夫がなされている。他の部分では、資料等の充実を図り、学習への意欲を高めるデジタルコンテンツが配置されている。192ページの実社会と実生活の関連については、「学びのチャレンジ」を設けていて、学年ごとの学びの確認ができ、中学校から高等学校へとつながる学びにも対応している。また、教材の冒頭に、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」を主とした目標が明示され、学びの視点をもつことができる工夫もなされている。

- 次に東京書籍、教科書9ページをお開き願う。実社会と実生活の関連については、「未来を考えるための9つのテーマ」を設定し、各教材に関連させ、共生社会や国際社会についてなど、考えを深める工夫がなされている。さらに、各学年末の教材「未来への扉」では、発達段階に応じた自己形成やキャリア教育に関する題材が配置されている。
- 同じく東京書籍だが、次に147ページをお開き願う。こちらは、主体的な学びに関わる取り扱いについて、二次元コードを使うことで、音声や映像など、生徒が必要に応じて授業中のみならず、家庭学習での活用など、デジタルコンテンツによる学習の個別最適化の工夫がなされている。
- 以上、これらを根拠に、この2者が望ましいとの意見が多く出されていたことを、ご報告させていただく。

■藤井教育長

- 何か質問等あるか。

■國谷委員

- この2者というのは。

■中田小委員長

- 教育出版と東京書籍を2者と申し上げた。

■木村委員

- 長時間かけて調査したのは、いわゆる学校の先生方専門家の意見で特に教出と東書がというところであったが、おそらく視点として、子どもがより主体的に学ぶことが期待できるか、先生方が効果的に指導できるというような観点も大きかったのではないかと思う。一方で、小学校でこの度教科書が光村に変わったが、その辺の継続性は大事だと思うが、それ以上にこの2者の方がいいというようなことか。

■中田小委員長（国語科）

- 小学校が光村というのは当然踏まえ、継続性のことなども検討した。ただ、小学校と、だから合わせえるだとかということではなく、全て同じような視点で見ていった結果、この2者が優れていると感じた。

■藤井教育長

- 他にあるか。

(意見なし)

■高村小委員長（書写）

- 各者の特色を簡潔に説明すると、東京書籍は、教科書44ページをお開き願う。主体的に学習に取り組めるデジタルコンテンツを掲載し、運筆動画や関連する他教科の紙面を見ることで、文字を書く際のポイントを意識することができ、各学年の「書写テスト」を端末で行い、自分の学びを次につなげられるよう工夫されていることなどが特色である。
- 次に三省堂は、教科書26ページをお開き願う。全ての教材に学習の目標と振り返りが設置され、「書き方を学ぼう」では、書き方のポイントが提示されているほか、どこに気をつけて書けばよいかを具体的な字形例とともに示し、書き方のコツを明確に捉えられるよう工夫されていることなどが特色である。
- 教育出版は、教科書80ページをお開き願う。学習目標とそれに対応した評価観点が明記され、自己評価ができる振り返りの欄や「試し書き」と「まとめ書き」の欄を設けることにより、生徒自身が一単位の授業において自らの成長に気付けるよう工夫されていることなどが特色である。
- 光村図書は、教科書54ページをお開き願う。生徒が主体的に考えるきっかけとなる「行書スイッチ」は文字の特徴を観察・比較することを通して生徒自身が確認しながら実践できる工夫がされており、手書きの良さや特徴について考えることで、文字への関心を高められるよう工夫されていることなどが特色である。
- 以上、各者の特色を申し上げたが、小委員会での話題では、教科用図書の選定にあたり、国語科の年間指導の中で国語科と書写の相互作用による効果を考えた際には、国語科と書写は同一の出版社の教科用図書の採用が望ましいとの意見が占めていた。教育出版は、先ほど申し上げた特色の他に、書写で身につけた力が様々な学習場面で発揮できるよう、国語科教科用図書の教材の内容を多く用いるなどして、各学年の学習活動を系統的に構成されている。
- 教科書10ページをお開き願う。主体的な学びに関わる取扱いについては、巻頭に「学習の進め方」を収録することで学習過程を明確化し、生徒が主体的に見通しを持って考え学べるようになっており、交流活動や気づきの書き込み欄を随所に設けることで主体的で対話的な学びを促していること。教科書39ページをお開き願う。実社会や実生活との関連については、各単元に、函館を始め北海道の代表的な身の回りの文字を扱い、文字への興味・関心を高めるコラムや「学習を生かして書く」教材を配置し、習得した書写力を他教科や日常活動に活用できるよう工夫されている。
- 次に、光村図書は、見開きページの中で、楷書と行書がすぐに比較できるよう示されており、書き方のポイントを考えてから書くといった段階的な学びを生徒が主体的に取り組めるよう構成されている。別冊「書写ブック」14ページをお開き願う。別冊というのが、巻頭の部分になっている。単元や一単位時間において、どのような力を身につけるかが明確かという観点については、単元の目標が明確で、学習内容と活動の流れがわかりやすく、単元冒頭では文字の書き方の原理・原則を発見できる言語活動が可能であり、「書写ブック」では習得と活用を効果的に繰り返すことができ、自己の成長を確認しやすく設定されていること。次に教科書88ページをお開き願う。実社会や実生活との関連については、生徒が書写に親しみを持てるよう、インターネットとの関わりやSDGs防災など日常的な題材を幅広く取り上げて、学んだことを生活に活かそうとする主体的な姿勢を促すコラムなどが効果的に設定されていることなどを根拠に、望ましいとの意見が多く出さ

れていたことを、ご報告させていただく。

■藤井教育長

- 何か質問等あるか。

■木村委員

- 説明のなかに、国語と書写の教科書は同じな者の方が指導するのにいいだろうというような話があった。特に委員の方から教出と光村がいいということであったが、となると国語の方で先ほど教出と東書2者がいいだろうとのことであった。そのことを考えると、教出が唯一の重なっている教科書というように捉えて、これがいいのかと勝手に思っているが、いかがか。

■高村小委員長（書写）

- 書写の中ではこの2者ということで、国語がどの教科書かっていうことではなく、この2者が望ましいということで選ばせて頂いた。

■藤井教育長

- 高村先生は書道家だが、小学校と中学校で、書写の教科書の出版社が違っても問題ないと思うか。同じ方がよいか。

■高村小委員長（書写）

- いずれでも特に問題はないかと思う。

■藤井教育長

- 他に何かあるか。

（意見なし）

■藤井教育長

- 今、木村委員からもあったとおり、国語と書写で見ると狭まってしまうので、参考にしながら、教育委員で決定させていただく。

書写終了、社会科地理的分野および地図の説明へ

■田上小委員長（社会科地理的分野，地図）

- 各者の特色を簡潔に説明する。まず東京書籍をご覧願う。257ページをお開き願う。一単位時間ごとのページに『二次元コード』左下にあるが、デジタルコンテンツがあり、内容も多岐にわたり充実している。生徒が授業内容をさらに深めるとともに、家庭学習やグループ学習、さらには予習・復習などに主体的に活用することができるであろうということが特色である。
- 続いて、教育出版58ページをお開き願う。授業の見通しをわかりやすく示した「学習課題」中央部分の黄色囲みになっている部分や、問いへの補足資料としての「LOOK」。あるいは「地理の窓」，「確認」や「表現」。このように、随所に生徒が主体的に取り組むことができるような工夫がされていることなどが特色と言える。

- 続いて、帝国書院64, 65ページをお開き願う。開いたところに写真が目飛び込んでくると思うが、生徒が“写真で眺める”から“学習を振り返ろう”まで順序立てて学習できる構成になっており、興味を持たせ、見通しをもちやすい豊富なコンテンツを利用して学習を深められるようにしていることなどが特色である。
- 最後になるが日本文教出版51ページをお開き願う。生徒が自ら、左側に柱のようなものがあるが、「編・章・節の問い」を立て、単元の学習の見通しをもって各時間の「学習課題」に取り組み、「まとめとふり返り」ページで「編・章・節の問い」を改めて考えるという構造になっていることなどが特色である。
- 続いて、地図について各者の特色を簡潔に説明する。東京書籍、付箋1番の90ページをお開き願う。1ページあたりの情報が充実している。関連する資料の参照ページを示す「ジャンプ」。90ページの人口増加率のところ小さくジャンプとあるが、これによって、これに関連するページに飛んで行って、この場合141ページを見るとさらに深まるという意味になる。生徒が複数の資料を関連させて見ることが容易になり、授業内容を補うとともに、学習をより広げることができる構成になっていることなどが特色である。
- 続いて、帝国書院147ページをお開き願う。生徒が地理的な見方・考え方はたからせられる“地図で発見”のコーナー、147ページの左下のところにクエスチョンマークがあるが、このような発見コーナーが全部で156か所設けられ、自主的な調べ学習を促しており、また、SDGsについて生徒が考察できる資料を豊富に揃えたとともに、専用のアイコンで見つけやすくしていることなどが特色である。
- 以上各者の特色を申し上げたが、委員から、以下の2者について補足をしていきたいとの声があったので紹介する。
- 教育出版5ページをお開き願う。単元を通して課題解決的に学習を進められるように、課題を捉え、ちょうど中央上に黄色い部分が、章の見通しとなっている。解決をしていく力の育成が図られるようにするとともに、「社会的な見方・考え方」を働かせた学習が促されるような工夫がされている。もう1点。126, 127ページをお開き願う。各節を貫く課題やSDGs、示された目標を視点に、学習を広げ、深める特設ページ「クロスロード」がついており、地域的課題の解決に向けた社会参画の意識を高めていくように工夫されている。また、教育出版は、北海道に関わりある内容が豊富に取り上げられているのが大きな特徴といえる。
- 帝国書院74, 75ページをお開き願う。生徒が学習の目標を“課題”として捉えられるように、各単元・単位時間の最初のページで押さえることができる。また、調べ方・まとめ方は75ページ右下の“確認しよう”“説明しよう”のアイコンで示され、生徒が課題解決に向かえる構成となっている。続けて付箋3番の275ページをお開き願う。「北海道地方」の学習になるが、“変化する函館の水産業”のコラムを掲載し、章の始めには五稜郭のイラストや函館山からの風景写真を掲載する等、写真・鳥瞰図・イラスト等を多用し、生徒が実生活を意識しやすいよう配慮されている。
- 続いて、地図についても2者ではありますが、まず東京書籍。付箋2番、85ページをお開き願う。85ページの下に蜂のマーク、資料活用コーナー「Bee's eye」というものですが、この蜂のアイコン「Bee's eye」により、地図の活用や学習を深めるためのヒントが提示されており、さらに深めていくような問いが要所所に出されている。二次元コードと併せて、授業に限らず、個別学習や家庭学習などにも活用することができ、興味関心を高めることにもつながっていくのではと考えています。続いて124ページをお開き願う。特に函館市や道南地方に焦点をあてた部分ではないが、デジタルコンテンツから内

容が豊富に展開できるようになっており、生徒が興味関心をもって調べることができるのではないかとと思われる。

- 帝国書院，163，164ページをお開き願う。世界では州別，日本では地方別のデジタルコンテンツが多岐にわたり，生徒がアクセスしやすくなっており，「人口」「生活・文化」などのテーマごとの“主題学習”を設けて，生徒が見通しをもって取り組みやすくなっている。195，196ページをお開き願う。函館市の地形図を利用した地形図の学習ページが設けられている。また“日本との結びつき”のコラムのようなものが随所にあり，絵記号を随所に取り入れることで，生徒が興味関心を持ち，実生活を意識して取り組みやすくしているということが特色として挙げられる。
- 以上，教科書2者，地図2者，それぞれ望ましいとの意見が多く出されていたことを，ご報告させていただく。

■藤井教育長

- 何か質問等あるか。

■木村委員

- 教科書と地図について同じ出版社がいいとか，特に関係ないとか，そういう意見はあったか。

■田上小委員長（社会科地理的分野，地図）

- あくまでも地図帳は，補完資料としての地図ということで，特段関係性を強く求めるものでなくてもいいという意見があった。地図は地図でより指導しやすく，生徒が活用しやすいものを選んでいただきたいという声があった。

■藤井教育長

- 他に何かあるか。

（意見なし）

社会科地理的分野および地図終了，社会科歴史的分野の説明へ

■佐々木小委員長（社会科歴史的分野）

- 各者の特色を簡潔に説明する。まず東京書籍110ページをご覧ください。一単位時間の「学習課題」が設定されていて，学習の終わりには，ページの下に「チェック」「トライ」の定型があり，知識・技能の確認と振り返りができるようにしている。図や資料の形や色が読み取りやすく学習の手助けとなっている。また，2次元コードがすべての見開きページに入っていることで，解説動画や歴史的資料に触れることができるという特色がある教科書である。
- 教育出版21ページをご覧ください。21ページ，章の問い，節の問いが明示されている。22ページをご覧ください。1単位時間の「学習課題」と「確認」・「表現」がわかりやすく明記されている。56から58ページをご覧ください。章のまとめを見方・考え方を育てる学習活動，ホップ・ステップ・ジャンプとして明記していることが特色となる教科書である。
- 次に帝国書院の36ページをご覧ください。単元はじめの「扉」タイムトラベルでは，イ

ラストを通じて、興味・関心をもちながら多面的・多角的に学び、章のまとめに繋がるように設定されている。38ページをご覧願う。一単位時間の「学習課題」が設定されていて、学習の終わりには、「確認しよう」「説明しよう」の定型があり、知識・技能の確認と振り返りができるようになっている。図や資料の形や色が読み取りやすく学習の手助けとなるという特色がある教科書である。

- 山川出版120ページをご覧願う。一単位ごとに「学習課題」と「ステップアップ」で見通しをもって進められるように工夫されている。各ページのクエスチョンでは、写真やグラフなどに関連しての課題が示されている。90ページをご覧願う。歴史へのアプローチでは、アイヌ民族の歴史と文化をとりあげている。141ページでは、高田屋嘉兵衛についても掲載されている特色がある。
- 日本文教出版42ページをご覧願う。一単位時間で何を学ぶのかを「学習課題」と「見方・考え方」をリンクさせて明確に示している。「学習課題」に対応した「確認」と「表現」で知識や技能の確実な定着を図っている。104ページから107ページをご覧願う。各章の導入ページで章の問いと豊富な図表で興味関心を高めるなど、デジタルコンテンツ、その中にはムービー・ポートフォリオ・小テストがはいっており、非常に豊富に掲載されていることが特色である。
- 自由社44ページをご覧願う。一単位ごとの学習課題を明示するとともに、解決の手立てを欄外の「チャレンジ」に提示し、知識の整理ができるようにしている。67ページをご覧願う。章末のまとめでは、時代の特徴を考えるページで見方・考え方を深めることができるなど特色がある教科書である。
- 育鵬社114ページをご覧願う。一単位時間で学習する「課題」と対応する「確認」・「探究」が設定されており、学習内容を振り返り定着しやすいように工夫されている。単元を貫く問いとしての「節の課題」が一単位時間の中にも記載されているという特色がある。96ページから99ページをご覧願う。章のはじめに豊富なイラストと課題が設定されていて、生徒の主体性を導くような構成をしているという特色のある教科書である。
- 次に教科書の見本がない学び舎について、趣意書にそって説明させていただく。見開き2ページの左上に大きな図版を配置して、観察して様々な発見や疑問が出るようにすることで、1単位時間の目標やねらいを明確に示している。章のはじめに各地域の生活や世界との繋がりから、課題意識を育成できるようにしているとの記載が趣意書にあった。歴史の小委員会としても手元にとることが出来なかったものである。
- 令和書籍の210ページをご覧願う。一単位時間に課題を設定し、「考えよう」のコーナーや文献資料を載せ、思考を深められるようにしている。内容面において基本的な内容の列挙にとどまらず、より高いレベルの知的探究ができるように深い内容も掲載されている。巻末には日本美術図鑑という、大変綺麗な写真の特集が組まれており、図版の美しさが際立っている、こういう特色のある教科書である。
- 以上、9者説明させていただいたが、その中で、歴史担当の委員の中からは、日本文教出版と帝国書院を推薦する声が多く聞かれた。
- 日本文教出版154ページをご覧願う。単元のはじめに大きな図版を用いて、時代を比較することで、何を学習するのかを確認し、「学び合い」を通して見方・考え方を深めることができる工夫がなされている。213ページでは、章の問いに対して、学習のつながりの中で歴史を体感できるまとめを工夫している。さらに地域素材として91ページには志海苔館跡。131ページには、国立アイヌ民族博物館、ウポポイを写真入りで丁寧に掲

載している教科書である。

- 帝国書院184ページであるが、単元のはじめにタイムトラベルで大きなイラストから時代の様子を把握し、「対話」を通して見方・考え方を深めることができる工夫がなされている。225ページでは、その章の問いに対して、同じくタイムトラベルのイラストを用いながら思考ツールなどを活用して歴史を体感することができる工夫がなされている。地域素材として、142ページの昆布ロードと北前船、蝦夷地とアイヌ民族についての記載が大変豊富に扱われている教科書である。
- これらのことを根拠に日本文教出版、帝国書院望ましいとの意見が多く出されていたことをご報告させていただく。

■藤井教育長

- 何か質問等あるか。

■小葉松委員

- ちょっと突っ込むような質問で申し訳ないが、日本文教の中の国立アイヌ民族博物館についての記載があることを評価するという風に捉えて良いか。

■佐々木小委員長（社会科歴史的分野）

- はい。

■小葉松委員

- 実際にいらっしゃったことはあるか。

■佐々木小委員長（社会科歴史的分野）

- はい。

■小葉松委員

- 博物館としてどう思われたか。国立博物館の中で、こんなにひどいところはないと私は思ったが、何でかと言うと、一次資料が全くない。新しくできた博物館なので、要するに、道内にはアイヌに関する資料を持ってる町だとか、例えば、函館北方民族資料館とか、そちらの方が持ってる、収蔵してる資料がはるかにいいものいっぱいあるのに、この博物館自体は、トップダウンである。国から言われて作った博物館で、私も行って驚いたのは、展示物に、例えばこれはどこで見つかって何年にできたものかといった記載がほぼ無く、最低の博物館だと思った。大変失礼だが教科書に関するいろいろな調査研究をされたと思うが、これ載せているからこの教科書がいいと言うのはいかがかと思うが、それに関するご意見はあるか。

■佐々木小委員長（社会科歴史的分野）

- 北海道の国立の博物館を取り上げているということで評価をさせていただいたが、言われるとおり北方民族資料館の最近の丁寧な展示等に比べるとそういう意味ではということもあるかもしれない。

■小葉松委員

- なので、国立博物館が北海道にできてアイヌのことをやってというのは上っ面だけはたしかにいいが、実際に見分したらちょっとこれは問題だと意見してる有識者はたくさんいる。なので、ここの部分を評価するからこれを推薦するというのは、調査研究としては、申し訳ないがちゃんと理解してほしいというのが私の意見だ。

■藤井教育長

- 他に何かあるか。

■木村委員

- 帝国書院の付箋の多さからも、おそらくいろいろな他の教科書にはない特徴的なものがあると推察し、先生方も、調査した先生方もおそらく指導するのに有効なコンテンツが多いからというような意味合いだと思うが、併せて、二次元コードが豊富にある教科書と見つけられなかった教科書があるが、やはり社会科ではこうした補助的な資料は大事だと思う。デジタルコンテンツの量等の比較で、これが充実している等あれば教えていただきたい。

■佐々木小委員長（社会科歴史的分野）

- 全てのページの見開きに載っているのは東京書籍と日本文教出版であった。ただそのひとつのコードのなかにどれくらいの中身、材料が入っているか、それぞれの教科書によって違うので、二次元コードの数だけをもってということにはならないが、いずれにしても、これからの授業においては、子ども達が自ら主体的に学ぶときに、調べる材料が教科書にあるということが非常にありがたいことではないかなと思う。

■藤井教育長

- 他に何かあるか。

（意見なし）

■藤井教育長

- 歴史の教科書はここ10年、20年で、いろいろな観点で、中学生にどういう内容を教えるかということでも動いてきている、変わってきているところでもある。どの資料を使うかということもある。そういう意味では、調査された方もたくさん勉強しなくてはなかったかもしれない。

社会科歴史的分野終了、社会科公民的分野の説明へ

■宮前小委員長（社会科公民分野）

- 各者の特色を簡潔に説明させていただく。まず、東京書籍の教科書70ページをお開き願う。章末の「まとめの活動」のページになるが、「確かめよう」「ふり返ろう」「深めよう」の3つが設定されており、その中でも「ふり返ろう」で各節の課題について、他者に比べて多数の思考ツールを使って課題解決活動を行わせている。各章の「導入の活動」を通して感じた疑問や気付いた点を整理して、「探究のステップ」で各節の課題が示されている。その上で章の探究課題を設定していることなどが特色である。
- 教育出版84ページをお開き願う。各章の「学習のはじめに」というページになるが、見通しをもって課題に取り組むことができるように「ウォーミングアップ! 公民」という

設定があり、各章に学習内容に関連する問いを設けている。その上で各節や章の問いを下の方に表記しています。これに対する章末の「学習のまとめと表現」では、「HOP」「STEP」「JUMP」の3つの段階が設定されており、真ん中の「STEP」で各章のふり返りと章の問いについて考える2段階の活動となっていることなどが特色である。

- 帝国書院は最初の方の2ページをお開き願う。各章の「学習の前に」というページになるが、イラストを通して視覚的に章への興味関心をもたせ、章の問い、節の問いについては各見開きページに掲げられ、見通しを持たせるかたちになっている。これに対する章末の「学習を振り返ろう」という設定で、「節の振り返り」を図等を通して行って、「章の振り返り」で思考ツールを取り入れていることなどが特色となっている。
- 日本文教出版128ページをお開き願う。章の導入部分に「まんが」が設定されており、生徒に興味関心をもたせるかたちになっている。その章の学習の見通しをもたせ、その上で章と節の問いが提示されている。各章の「まとめと振り返り」では、章全体の問いを解決するために、各章で異なった思考ツールを取り入れている。また、全ての見開きページに二次元コードがついている。動画をはじめデジタルコンテンツが豊富に用意されていることなどが特色である。日本文教出版については以上です。
- 自由社は22ページをお開き願う。各章の最後の「学習のまとめと発展」というページだが、レポートや卒業論文、ディベートを行う場合に、生徒が主体的に思考して、判断し、表現することなどを各章を通して取り入れている。全体的に生徒の発達段階を考慮して、生徒が基礎的な意味を理解できるように、基礎的事項を厳選し、そこから体系的に整理し再構成して、主体的に学ばせることによって、公民的資質を養えるようにしている教科書というように捉えている。
- 育鵬社45ページをお開き願う。象徴天皇制について、多くの本文や写真等を使って、内容を充実させている他に、他のページでは、防衛について他者に比べて詳細に記述している。また別のページの「章の入り口」が各章に設定されており、豊富な資料を通して生徒に章の見通しを持たせている。その上で節、章の課題があり、章の学習につなげている。章全体にデジタルコンテンツ「NHKforschool」につながるようになっており、外部リンクが豊富に準備されていることなどが特色である。以上、各者の特色を申し上げたが、委員からは、教育出版と日本文教出版の2者について補足が必要とのことであつたので説明させていただく。
- 教育出版は10ページに、思考ツールがまとめられ、課題解決学習につながるようにしている。次に43ページをお開き願う。見開きのページにわたって、全ページに、SDGsのマークが記載され、意識化を図っている。51ページは北海道の地域事例として、平等権でのアイヌ民族関連の学習を本文で詳しく掲載している。198ページは領土問題の学習、200ページではロシアを含めた近隣諸国との外交関係に関する特設ページを設けられている特色がある。
- 日本文教出版12ページをお開き願う。節の問い、章の問いを載せ、生徒への意識付けを図っている。クリップのマーク部分は、地理、歴史との関連付けが問いとして表記されており、節の問いに答えようであるとか、細かいところで意識付けがされているページが特色である。加えて今回の公民の教科書の中で、唯一函館市を扱っているページがあり、115ページだが、「共創のまちぐらし推進プロジェクト」ということで写真が載っている。194ページだが、領土問題で見開き2ページで詳細を学習する他に、特設ページで、北方領土問題を筆頭に他の領土問題や世界の領土問題へと意識付けを行っている。これらを根拠に、教育出版と日本文教出版が望ましいとの声が多かったことをご報告させて

いただく。

■藤井教育長

- 何か質問等あるか。

■木村委員

- 公民は生徒にとって、なんとなく近くない、興味がなかなか持ちづらい、そういう内容も多いと思うが、そういう意味で先ほど説明のあった函館が取り上げられていることをきっかけに、いろいろな地域に興味を持つとか、北海道が取り上げられていることで、領土とかそういったことに興味関心を抱くことが多いだろうと思うが、教育出版と日文は、そのあたりいかがか。生徒が興味持ちそうな北海道だとか身近な話題、トピックス的なことも含めていかがだったか。

■宮前小委員長（社会科公民分野）

- 正直にいうとどの会社も扱っている。教育出版だけが、日本文教だけが、北海道を扱っているものではない。切り口として、今、身近なところに話をもっていくやすいつくりはしているなどと思う。例えば選挙など生徒にとっては身近ではないが、その辺にある材料なので、教科書をきっかけに、そういえばあそこに選挙の看板があったよね、というようなとっかかりを持ちやすいのは2者であると考える。

■藤井教育長

- 他に何かあるか。

(意見なし)

社会科公民的分野終了，数学科の説明へ

■菅原小委員長（数学科）

- 各者の特色を簡潔にご説明する。東京書籍64ページをお開き願う。「見方・考え方」を高めたり、学びを振り返って「見方・考え方」を意識したりできるよう「虫眼鏡マーク」を記載するなど工夫されている。また、「章のとびら」において、単元を貫く題材を設定し、その単元を通して身につけたい力が明示されていることなどが特色である。
- 大日本図書270ページをお開き願う。「MATHFUL」という項目において、数学の世界をさらに広げ、学習することのよさを実感できるよう工夫されている。また、章のはじめや「活用・探求」、「社会にリンク」に身近な事象を取り入れ、学習意欲を高められるよう工夫がされていることなどが特色である。
- 学校図書2ページをお開き願う。学習過程を10に細分化し、各過程ごとに学習活動を可視化できるようにしていること。章のとびら、節のとびらにおいて、学習の必然性を実感し、意欲をもって取り組めるよう工夫がされていること。また、巻末では、思考の流れとともに「見方・考え方」を整理することで、今後の学習に活用できるよう工夫していることなどが特色である。
- 教育出版246ページをお開き願う。「まなびリンク」において、シミュレーションやアニメーションを通して理解を深めることができるよう、コンテンツが充実されていること。「章の問題」では習熟の程度に応じて問題を選択できるよう工夫していること。「学

びのマップ」において、既習内容を確認できるよう工夫していることなどが特色である。

- 啓林館 5 2 ページをお開き願う。「利用の節」では「ステップ方式」に沿って活動に取り組むことで、問題を発見・解決するとともに、学んだことを利用して他の問題を解決できるよう工夫されている。また、「あしあと」では、単元全体を振り返る活動を通して、さらに学んでみたいことにも目を向けられるよう工夫されていることなどが特色である。
- 数研出版 2 4 ページをお開き願う。繰り返し練習するための「補充用の問題」や動きを伴う教材での「アニメーション・動画」、変化のきまりを調べたり、分類したりするなどの活動場面には「生徒が自由に操作できる」デジタルコンテンツを豊富に用意するなど、主体的に学習に取り組んだり、学習内容を理解しやすくなったりするよう工夫されていることなどが特色である。
- 日本文教出版 5 2 ページをお開き願う。章の後半では、協働的に学ぶことができるよう、「学び合おう」の節が設けられている。また、巻末には「学び合おう」に対応した「対話シート」や「振り返りシート」が用意されており、学びの過程を認識し、自身の変容を実感できるよう工夫されていることなどが特色である。
- 以上、各者の特色を申し上げたが、委員からは東京書籍について、先ほど申し上げた特色の他に、豊富なデジタルコンテンツで生徒の主体的な学びを保障している点を高く評価する声が聞かれた。東京書籍 6 3 ページをお開き願う。章の学習を俯瞰できるよう導入動画を用い、全体の学習を見通すことができるよう工夫されている。「振りかえりレポート」、シミュレーションやフラッシュカード等、「見方・考え方」を振り返り、自学自習ができるようデジタルコンテンツを充実させていること。加えて、5 7 ページをお開き願う。「深い学びのページ」において、日常生活の事象に関わる問題を発見し、現実場面に戻してその意味を考えることが出来るよう工夫されている。また、「数学のまど」において、学習してきたこととスポーツや社会事象などとの関連を実感できるよう工夫していることなどが特色である。
- 啓林館は、先ほど申し上げた特色の他に、豊富な学習課題で、学んだことからの定着を工夫している点を高く評価する声が聞かれた。啓林館 5 8 ページをお開き願う。学習内容の理解を助けたり、「学習のとびら」の場面理解や数学的活動をサポートするデジタルコンテンツが工夫されていること。また、PPDACサイクルを2周させて考察を進め、統計的問題解決のしくみが理解できるよう工夫されていること、2 8 6 ページをお開き願う。教科書全体を通して、身の回りや社会と数学のつながりを感じられるよう工夫されていること。特に各学年で、SDGsに関する内容や、さらに巻末には「数学広場」が設けてあり、現代的な課題への対応や学習を調整する力を高めることができるよう工夫されていることなどが特色である。以上を根拠に、望ましいとの意見が多く出されていたことを、ご報告させていただきます。

■藤井教育長

- 何か質問等あるか。

■木村委員

- 数学は、説明にもあったが、自学自習という部分が大きいと思う。そういう意味で、先程東京書籍は自学自習するのにふさわしいというお話があった。それから啓林館は豊富な学習課題があって、主体的に学ぼうとする姿勢を育むという意味合いがあると思うが、総体的に問題量として、東京書籍と啓林館が多いのか少ないのか、他の社と比べていかが

か。

■菅原小委員長（数学科）

- 教科書に記載されている問題については各社ほぼ横並びだと思っている。ただ、デジタルコンテンツを比較すると、東京書籍は、1年生でおよそ623。ほか6社については、110から170程度という形でコンテンツの数のみを単純に比較すると、大きな開きがある。

■藤井教育長

- 他に何かあるか。

（意見なし）

数学科終了，理科の説明へ

■橋本小委員長（理科）

- 各者の特色を簡潔に説明する。東京書籍3年生の教科書16ページをお開き願う。東京書籍は見開き1時間の構成となっており、学習内容や探究の流れなどの見通しをもちやすく、単元や章の導入と終わりの本質的な問いかけの設定により、生徒自身が変容を実感でき、単元や一単位時間においてどのような力を身につけるのかが伝わりやすくなるように工夫されていることなどが特色である。
- 大日本図書64ページをお開き願う。興味・関心を高めるための実験や観察が豊富であり、また単元の最後には「探究活動」として発展的な内容や学び方を示し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるように工夫されていることなどが特色である。
- 学校図書240ページをお開き願う。SDGsに関するコラムを掲載することにより、生徒に今日的な課題への関心をもたせるだけでなく、持続可能な社会を作る一員としての自覚を促し、生徒自身が実社会や実生活との関連が理解できるように工夫されていることなどが特色である。
- 教育出版71ページをお開き願う。単元や章のはじめに、学習の目標やねらいが提示されており、生徒が今まで学んできた学習、既習内容の振り返りがしやすくなっていること、特に各章ごとに小学校や前の学年までのつながりを踏まえて、その後の学習の系統性がわかるように工夫されていることなどが特色となっている。
- 啓林館1年生の教科書134ページをお開き願う。生徒の興味を引き出す発問と共に、学習の前後で考え方の変化を見取ることができるような投げかけをしており、生徒自身が主体的に学習に取り組むことができるように工夫されていることなどが特色である。
- 以上、各者の特色を申し上げたが、次の2者の工夫を取り上げて補足説明する。
- 東京書籍は、多様なデジタルコンテンツが予定されており、単元や章のねらいに沿いながら、主体的に学習に取り組むことができるような設定となっている。2年生の教科書17ページをお開き願う。主体的な学びに関わる取り扱いについて、事前にデジタルコンテンツを用いて実験器具の設置や操作方法を予習することで、生徒が安全に正しく実験ができるようイメージ化を図るとともに、考察する時間の確保ができるように工夫されている。3年生の教科書176から177ページをお開き願う。実社会や実生活との関連については、「学びを生かして考えよう」や「まちなか科学」など、日常生活や自分の体験との関

連を扱うことで、生徒がさらに学習内容が深められるように工夫がされていることが挙げられる。

- 啓林館2年生の教科書32ページをお開き願う。単元や単位時間における学習の目標やねらいの明確さについて、章末の「Review」では、重要語句と大切な考え方を紙面とCBTの両方を使って確認でき、生徒自身が学習の目標やねらいの到達度を確かめられるように工夫がされていることが挙げられる。次に3年生の教科書151ページをお開き願う。実社会や実生活との関連について、「ためしてみよう」や「深めるラボ」において、生徒が日常生活の中で疑問をもちがちな教材を扱うことで、生徒が身近な現象、事象などを学習内容と結びつけて考えられるように工夫されていることが挙げられる。以上を根拠に、望ましいとの意見が多く出されていたことを、ご報告させていただく。

■藤井教育長

- 何か質問等あるか。

■木村委員

- 啓林館が3冊教科書用意されていて東京書籍が2冊ということで、この差はあまり考えなくてもよいか。

■橋本小委員長（理科）

- 特徴的な部分が3冊に広がっていたのが啓林館であって、東京書籍はこのほかの1冊にもきちっと今申し上げた特徴が載っていた。特にということで2冊にしぼらせていただいた。

■木村委員

- デジタルコンテンツが東京書籍は素晴らしいという話があった。やはり理科というと、実際に本物を見ることができないので、立体的にとか、動作的とか、そういうもので確認できればいいなと思う。

■藤井教育長

- 他になにかあるか。

(意見なし)

理科終了、音楽一般および器楽合奏の説明へ

■阿蘇小委員長（音楽一般・器楽合奏）

- 特色を簡潔に説明する。まずは音楽一般である。まず教育出版、1年生8ページ。幅広い知識と教養、豊かな情操を培えるように、我が国及び諸外国の音楽から、さまざまな時代や曲種のものを選び、音楽のもつ多様なよさや面白さを感じ取れるように配慮されており、さらに教科書冒頭に教材と適切な学習の進め方を提示しており、生徒が学習の見通しをもち、主体的・協働的な学びを深めることができるよう工夫されていることなどが特色となっている。

- 教育芸術社1年生54ページをお開き願う。教育芸術者は、学習の手順に番号を付け、各段階で考えることや工夫することを吹き出しでサポートするなどして、生徒が学習の流れを見通しながらスムーズに学習を進めることができるように例示されており、さらに二

次元コードを読み取ることによって、学習に役立つコンテンツへアクセスして閲覧、視聴することができるなど、ICT機器を活用した学習への対応がされていることなどが特色となっている。

- 続いて音楽器楽である。教育出版、6ページをお開き願う。教育出版は生徒が学習指導要領に示された知識や技能が確実に習得できるよう、教科書前段は演奏の仕方、後段は合奏を主体とした表現活動とした構成・配列となっており、さらにさまざまな楽器で多様な音楽を表現できる合奏教材が掲載されていることなどが特色である。
- 教育芸術社55ページをお開き願う。教育芸術者は生徒が楽器の特徴などの知識や、表現活動をするための技能を確実に獲得できるように、分かりやすい写真と説明文を示しており、さらにキャラクターなどで、生徒が課題意識をもって、主体的・対話的で深い学びを促すように工夫されていることなどが特色となっている。
- このほか教育出版は、1年生22ページをお開き願う。音楽的な見方・考え方のヒントなど活動のポイントを示すことで、生徒が主体的な活動ができるよう促し、身に付いた力や自身の成長に自覚へと学習を進められるよう工夫されている。次に同様に、47ページ、48ページをお開き願う。鑑賞教材と関連教材が系統立てて構成されて、生徒が知識を広げることができる配列となっており、さらに二次元コードが示されていることから演奏例やワークシートを参照しやすいよう工夫されている。22ページをお開き願う。先ほどもご覧いただいたが、身近な地域の事象が取り上げられていることにより、生徒が実社会や実生活との関連を意識しながら学習に取り組み、さらに親しみを持って学習できるよう工夫されている。
- 続いて教育芸術社1年生の教科書28ページをお開き願う。生徒が身につけた力や自身の成長を自覚しやすいよう、具体的な学習目標やそれに関連する音楽を形づくっている要素や学び方が教材ごとに明確に示されている。20ページをご覧願う。生徒の興味・関心を高めるデジタルコンテンツが充実しており、特に創作の授業において生徒の主体的な活動を促し、生徒が見通しを持って取り組みやすいよう工夫されている。68ページをお開き願う。生活や社会の中の音や音楽についての取り扱いが充実していることにより、生徒が身につけたことを他の学習や生活の場面でも活用できるよう工夫されている。
- 続いて音楽器楽である。教育出版6ページをお開き願う。生徒が見通しを持って課題に取り組めるよう、段階的な活動を積み重ね、さらに「吹く」「弾く」「打つ」にジャンル分けされた教材の中で、様々な楽器を比較しながら知識を深めることができるよう工夫されている。続いて76ページをお開き願う。生徒が親しみやすい曲や鑑賞教材の譜例を取り上げていることにより、生徒が興味・関心を高めやすく、自己の学びを振り返って次につなげる活動が位置づけられている。56ページをお開き願う。身近な地域の楽器や曲を通して、実社会や実生活との関連を意識するなど、生徒が身につけたいことを他の学習や生活の場面でも活用できるよう工夫されている。
- 教育芸術社6ページをお開き願う。生徒が見通しをもって課題に取り組み、段階的な学びを進められるよう丁寧に教材が配列されており、さらに楽器ごとに分けられた教材の中で様々な楽器を比較しながら知識を深めることができるよう工夫されている。12ページをお開き願う。多様な活動やデジタルコンテンツが充実しており、動画によって生徒が見通しをもちながら主体的に確認しながら学習に取り組み、自己の学びを振り返りやすいよう工夫されている。71ページをお開き願う。身近な地域に関連する曲や鑑賞教材の譜例を取り上げていることにより、実社会や実生活との関連を意識し、生徒が興味・関心を持ちやすいよう構成されている。

- このことを根拠に、望ましいとの意見が多く出されていた。また、音楽一般での学びが音楽器楽での学びと連動している点から、同じ発行者であることが適当だと考えたことをご報告させていただく。

■藤井教育長

- 何か質問等あるか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 現行の教科書は教育出版であり、音楽については2者しかないが、どちらでも差はないということか。

■阿蘇小委員長（音楽一般・器楽合奏）

- 学習内容、共通教材同じものを扱っており、特に2者の差異はない。

■藤井教育長

- 他に何かあるか。

(意見なし)

音楽一般および器楽合奏終了、美術科の説明へ

■三谷小委員長（美術科）

- それぞれの特色を簡潔に説明する。なお、2・3年は上下の教科書に分かれていたり、1冊にまとまっていたりするので、3者すべて1冊になっている1年生の教科書を使って説明させていただく。開隆堂10ページをお開き願う。身に付けさせたい力を明確化させるなど、各題材の「学習の目標」を提示し、学習活動を効果的に進められるように工夫されている。また、「アイディアシート」や「鑑賞シート」、「振り返りシート」などが活用できるような構成になっている点が特色である。
- 光村図書24、25ページをお開き願う。「表現」と「鑑賞」の相互関連を意識し、オレンジ色で表示した「鑑賞」と青色で表示した「表現」などのアイコンを活用することで学びの流れがわかり、見通しをもって学習活動に取り組むことができるよう工夫がされている点が特色である。
- 日本文教出版12、13ページをお開き願う。各題材において「学習の目標」を設定し、「表現のヒント」や「造形的な視点」、「鑑賞の入口」などを提示することで、何ができるようになるか、何を学ぶのかを明確にし、一単位時間において見通しをもって学習活動に取り組めるよう工夫がされている点等が特色である。
- このほか委員からは挙げられた点を説明する。開隆堂は、全体を通して、「鑑賞」や「表現」活動を通して生活や社会の中の美術や文化と豊かに関われる資質・能力を育ませるような構成になっている。6ページ、7ページをお開き願う。主体的な学びに関わる取扱については、学びのポイントをアイコンによって示したり、二次元コードの掲載および活用させることにより、興味関心を高め、見通しをもって学習に取り組むことができる工夫がされている。16、17ページをお開き願う。実社会や実生活との関連については、北海道、諸地域及び他の外国の作品や文化、また、SDGsやユニバーサルデザインなど、多

種多様な作品を取り上げることによって実社会や実生活との関連を意識できるように工夫がされているとい特色もあると委員の方から出ている。

- 日本文教出版は全体を通して生活を美しく豊かにする造形や美術の働き、美術文化についての理解を深める学習の充実を図っている構成になっている。22、23ページをお開き願う。主体的な学びに関わる取扱については、すべての題材に学習端末を利用して動画や資料を参照できる「学びのはじめに」等、2次元コードを配置し、見通しをもち、理解を深めながら学習に取り組める工夫がされている。次に44から47ページをお開き願う。実社会や実生活との関連については、北海道に関連のある作品、施設、また他の地域の文化などの資料を充実させたり、多様な表現や価値観に触れられる題材を取り上げたりなど、実社会や実生活に豊かに関わられるような工夫がされている点が特色であり、この2者が望ましいとの意見が多く出されていたことをご報告させていただく。

■藤井教育長

- 何か質問等ないか。

(意見なし)

美術科終了、保健体育科の説明へ

■山口小委員長（保健体育科）

- それぞれの特色を簡潔に説明する。東京書籍、2年生の学習内容の76ページ、77ページをお開き願う。学習の流れが明確ということで、見つける、学習課題、課題の解決、本文・資料、活用する、広げるという工程が見開きでわかりやすくなっているほか、各章では動画が充実しているなど視覚的に情報を捉えられ、学びを深める工夫がされていることなどが特色である。
- 大日本図書、2年生の学習内容の96ページ、97ページをお開き願う。本文と資料の構成が精査されていたり、資料の豊富さや知識を深めるための説明内容がわかりやすいほか、授業の振り返りとして、97ページの右下に記載されているとおり「活用して深めよう」という項目を取り入れ、身についた知識が広がり、今後の生活に繋げられる内容となっていることなどが特色である。
- 大修館書店、1年生の学習内容である22ページ、23ページをお開き願う。情報の内容および情報量が適切であり、本文と資料の配置が工夫され、各節で統一されているため、生徒にとって見やすく視覚的に情報が入りやすくなっているほか、23ページの右下に記載されている学習のまとめでは、学習内容に合わせた学習形態、個別学習やグループ学習が効果的に取り入れられ、考えが深まる構成となっていることなどが特色である。
- 学研、3年生の学習内容である140ページ、141ページをお開き願う。ウォームアップ、課題の発見から、エクササイズ、課題の解決、学びの活用によって、学習の見通しが持てる流れとなっていて、その中でも振り返りの発問により、授業の着地点がわかりやすくなっているほか、個別学習から、グループ学習を通して自分の考えが広がる構成になっていることなどが特色である。
- 委員の中でこの中から2者が望ましいということで、2者についてご説明させていただく。
- 大修館書店は見開きで3つの資質・能力をバランスよく育むような構成となっている。3年生の学習内容である166ページ、167ページをお開き願う。課題をつかむ、か

ら、身につける・考える、そして、学習のまとめの、まとめる、振り返る、という構成の順序がわかりやすく、小学校で既習した学習内容、中学校・高校で学ぶことが明確になっている。見直しをもった学習、更には実生活に繋がりがやすくなっていることが挙げられる。1年生の学習内容の42ページ、43ページをお開き願う。変化の激しい社会に対応したコラムの内容や特集資料が多く、多様性や共生社会を重視した幅広い内容や、今日的な課題が取り上げられ、本文が生徒にとってわかりやすくまとめられていることが特色である。

- 学研については、現代的な課題に対応する力が身につく構成となっており、学習内容と適切に関連させ、多様な学びが習得できる内容となっている。2年生の学習内容である124ページから127ページをお開き願う。デジタルコンテンツは学習を手助けする各機関などのホームページに繋がっているほか、「学びの活用」が実生活に生かすものとなっており、グループ活動も取り入れられ、共同的な学びを促す構成になっている。3年生の学習内容の151ページをお開き願う。ウェルビーイング等が扱われ、生きるためにはどのような社会や生活を送るとよいかなど多様性についても考える内容となっており、コラムについても充実し、現代的な課題が解決しやすい内容となっている。委員からは2者が望ましいとのことでご説明させていただいた。

■藤井教育長

- 何か質問等あるか。

■小葉松委員

- 大修館書店について、先ほどご案内があった42ページは性に関する多様性のことだと思うが、委員の方からは評価するという意味でここに付箋がついているということか。このページの内容が他になくて良いということか。

■山口小委員長（保健体育科）

- 性的マイノリティについて詳しく取り扱っているということで、ここもふれさせていただいた。

■小葉松委員

- 産婦人科医師なので専門家から言うと、ちょっと違わないかというようなことで、医学的には少し暴走している内容だと私は思う。これを評価するというのは、これを見て、少し問題があるのではないかと気にする人は気にしてしまいそうな内容だと思う。性的マイノリティの概念自体について、先生方が、そういう志向があるという子どもに対して、包容してあげなければならないという気持ちがあるのは分かるが、このように議論がいくらでもできてしまうような内容を教科書にしまうと、子ども達にとってはこれが100%正しいことだという認識になってしまう。なので、これは、少し行き過ぎているのではないかというように感じたのでコメントさせていただいた。

■藤井教育長

- 今の件で何かあるか。

■山口小委員長（保健体育科）

- 我々は、おっしゃっているとおりだと、そのように考える。

■藤井教育長

- 学研の教科書はここまで詳しくは書いていなかったようだが。

■山口小委員長（保健体育科）

- 学研は66ページに、性の多様性ということで、LGBTと心の多様性というように記載している。

■藤井教育長

- その程度で押さえているということで承知した。他に何かあるか。

（意見なし）

保健体育科終了，技術・家庭科の説明へ

■小田桐小委員長（技術・家庭科）

- 東京書籍，家庭科2ページをご覧願う。学習課題を導く「始めの活動」，学習の振り返りとなる「まとめの活動」を設け，生徒が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。また，多様なデジタルコンテンツが収載され，生徒が主体的に学びを広げられる構成になっている
- 教育図書技術科10ページをご覧願う。「見つける」「学ぶ」「振り返る」という学習の流れを3ステップで明確に示すことで，生徒が本文を読み進めやすく，技術の見方・考え方を養うことができるような工夫がなされている。また，紙面上の二次元コードからは，単元に関わる動画や資料を見ることができるようになっている。
- 開隆堂，技術科は28ページをご覧願う。各小項目の学習内容を見開き2ページにまとめ，基本的な流れも「学習の目標」「学習課題」「内容」「CHECK」の4段構成に共通化し，学習の見通しが持ちやすくなるような工夫がなされている。また，紙面上の二次元コードからは，1単位時間の学習に関わる動画や資料を見ることができるようになっています。以上が3者の特色となっている。
- 委員から望ましいとの声があったものについて追加で説明する。東京書籍，家庭科巻末4ページをご覧願います。「家庭分野とSDGs」が設けられ，学習内容の振り返りやこれからの学習および実践につなげられるようになっている。東京書籍の技術科18ページをご覧願う。技術のめがね」が設けられ，技術の見方・考え方を気づかせる工夫がなされている。
- 開隆堂，家庭科292ページをご覧願う。「生活の課題と実践」が設けられ，社会にある課題の解決へ向けたプロセスを考えさせられるようになっている。同じく開隆堂，技術科50ページ「問題の解決の流れ」が設けられ，問題解決の手順や考え方が明確に示され，活動に取り組みやすくなっている点が特色である。以上，今まで申し上げたことなどを根拠に，望ましいとの意見がこの2者について多く出されていたことを，ご報告させていただきます。

■藤井教育長

- 何か質問等あるか。

■木村委員

- 教育図書でスキルアシストという別冊があるが、これは、内容的に他の教科書にはないものなのか。それともほかの教科書については中に含まれているのか。

■小田桐小委員長（技術・家庭科）

- このスキルアシストについては、技術においての基礎基本が掲載されている。別冊になっているが、ほかの教科書については、それが教科書の内容の中に埋め込まれている。なので、この内容が特別なことではなく、他者の教科書にもしっかりと入っていることを申し添える。

■國谷委員

- 技術・家庭科は2つで1セットということか。

■小田桐小委員長（技術・家庭科）

- やはり教科書のなかで、相互に交流している場面があるので、同じ会社を選ぶ方が望ましいかと思う。

■藤井教育長

- 他に何かあるか。

（意見なし）

技術・家庭科終了，英語科の説明へ

■小笠原小委員長（英語科）

- 説明には、第1学年の教科書を使わせていただく。東京書籍98ページをお開き願う。98ページUnitとあるが、振り返りや自己評価を行うことができるように、Unitごとに単元末活動が設定されている。またこの単元末の活動を重視しながら、全ての単元の冒頭に「Unit activity」があり、必ず到達点、ゴールが示されている。こういったところで身につけた力や、自身の成長を実感できるよう工夫していることが特色である。
- 開隆堂45ページをお開き願う。「何のために」「だれのために」を意識したコミュニケーション活動を通してスモールステップで学びに向かい、「最終的に身につけさせたい力」、Goalsに向けて、これまで学習した表現や活動を使い、「Our Project」として大きな単元を設定している点が特徴である。1年生では3単元設定されておりまして、1，2，3年生合わせて8単元設定されている。
- 三省堂50ページをお開き願う。「Goal Activity」ということで、知識・技能と思考力・判断力・表現力等をバランスよく身につけていくことを自覚することができるように、また、「読むこと」または「書くこと、話すこと」といった部分も含めて、コミュニケーション活動で学びを実感することができるよう工夫している点が特色である。
- 教育出版は47ページをお開き願う。単元の最初で内容理解、活動といった記載がある。これが目標になるが、シンプルな単元構成になっており、バランスよく身につけたり、思考力・判断力・表現力等を段階的に身に付けたりできるよう構成していることなどが特色である。

- 光村図書46ページをご覧願う。単元の目標を具現化した「Goal」の活動に向かって学習を進められるようにするとともに、「Goal」には、各パートの学習の振り返りを促すヒントやアイコンを設定することで、既習事項を繰り返し活用しながら、学習活動に取り組むことができるよう工夫していることなどが特色である。
- 啓林館87ページをお開き願う。インプットとアウトプットのそれぞれの目標を「UnitGoal」に示すとともに、4技能5領域の内容をUnit内で適切に取り上げたり、言語活動に4技能5領域のマークを表示したりして、Unitで学んだ言語材料を使って場面や状況に応じた活動が設けられており、身に付けるべき知識・技能を把握できるよう工夫していることなどが特色である。
- このほか委員からの意見をご説明する。東京書籍は、英語で伝え合う生徒の「体験」を積み上げる構成となっており、各学年のテーマのもとで難易度の低いものから徐々に高いものへと系統的に繰り返し練習することができるといった意見があった。
- 開隆堂は、小学校での学習の上に立って、一層コミュニケーション能力を伸ばすために、「話すこと」を軸に4技能5領域の能力を総合的に扱い、統合的に活用して思考力、判断力、表現力を育成することができるといった意見が特に出されており、高く評価されていた。
- さらにこれら2者について説明する。東京書籍は、生徒がデジタルコンテンツを通して、興味、関心を高め、学びを進める工夫や、身近な事象により、一層実感を伴った学習を行うことができる工夫が見られる。巻頭ページをご覧願う。主体的な学びにかかわる取扱いについては、前回の教科書から機能が追加された豊富なデジタルコンテンツを通して、音声学習を効率よく進め、言語を使用する目的・場面・状況を意識し、アクティビティに主体的に取り組める工夫により、コミュニケーション力の向上につながられる。72ページをご覧願う。取り扱う題材や登場人物の出身地など、多様性が尊重される社会の実現を意識して、ダイバーシティを重視することができるよう配慮されており、日本の伝統や文化の良さを海外に発信したり、逆に外国人に日本の良さを紹介したりしながら、自国の理解を深めることができる。
- 開隆堂は、登場人物・題材等にストーリー性を持たせるなど見通しをもって学ぶことができる工夫や、身に付けた表現を他の学習や生活場面で活用できる工夫が見られる。22ページをご覧願う。主体的な学びにかかわる取扱いについては、ストーリー性のある統一した登場人物・題材、関連した写真やクイズ、動画、簡単なリスニングで楽しく学ぶことができる内容、さらに、2ターンを基本とした対話を通して、ミニマムエッセンスで新出表現を理解できる。また93ページからは実生活と関連した内容や現代的課題を通して、広く壮大な内容にふれながら、身の回りの場面から社会的な場面まで、統合的なパフォーマンス活動を行う「OurProject」を通して、社会的な場面で自分の言葉として英語を使う力を身に付けることができることなどを根拠に、特に、これら2者は望ましいとの意見が多く出されていたことをご報告する。

■藤井教育長

- 何か質問等あるか。

■國谷委員

- 小学校はどの出版社であるか。

■小笠原小委員長（英語科）

- 東京書籍である。

■木村委員

- 特に英語の場合小中のつながりというのが大事ではないかと思う。例えば、記号とかいろんな進め方とかについて、あまりこうギャップがない方がいいのではないかと思っていたが、委員から何か話しは出たか。

■小笠原小委員長（英語科）

- 巻頭ページにデジタルマップというイラストがあるが、こちらには小学校で使われているキャラクターが出ている。それから東京書籍は、1年生の前半である程度ページを割いて、小学校の学習とつないでいくページを作っている。東京書籍の場合にはUnit 0として設定しているだとか。それぞれ若干違いはあるが、同じようにして、幼・小学校との関連というのを意識して、各社とも作っているという状況にある。

■藤井教育長

- 他に何かあるか。

（意見なし）

英語科終了，特別の教科 道徳の説明へ

■藤井教育長

- ここで、委員の皆様にお諮りする。本来であればすべての道徳の教科書について説明をするが、時間が押している関係で、小委員会でも望ましいとされた2者についてのみこの場で説明していただこうと思うがいかがか。

（意見なし）

■對馬小委員長（特別の教科 道徳）

- 東京書籍，76ページをお開き願う。東京書籍の場合はポスターやグラフ，さらに二次元コードによる映像資料や内容を深める資料など多彩なコンテンツの充実がしており，生徒が主体的に学習に取り組める工夫がされていると考える。また，全教材について，朗読音声とワークシートが付されており，学習のあらゆる場面での活用が可能であるという点が特徴である。2ページをご覧願う。「一年間で学ぶこと」や教科書の使い方を示したページがあり，学び方について丁寧に示されている。それぞれの教材についても，内容項目に沿った考える観点や中心発問が明確に示されるとともに，自分を見つめる設問を加えるなどの工夫がされている。90ページをお開き願う。読み物教材として，3年間を通して同じ登場人物が友情を育んでいく物語が取り上げられており，生徒が実生活に照らし合わせて考えられる工夫がされている。さらに，霧多布高校の取組や道内の人物を取り上げた教材が各学年に渡って取り上げられている。

- 日本文教出版60ページをお開き願う。各教材において，主教材に関連したコラムが豊富に盛り込まれ，他教科や自主学習に活用することができる。また，別冊で「道徳ノート」，小さいノートが付されており，ノートを使うことで1年の成長を記録できるだけでなく心情メーターやシンキングツールを使うことができるよう工夫されていることなどが

特色である。6ページをお開き願う。各教材において「気づく、考える・議論する・深める、見つめる・生かす」という3つのステップを踏んで学習のねらいにせまる構成となっている。主教材と合わせてコラムが豊富に用意されており、他教科と関連付けて横断的に活用できるほか、生徒が主体的に深める手立てとなるよう工夫されている。106ページをお開き願う。アイヌ文化や襟裳岬についてなど、北海道を取り上げた読み物も多掲載されている。別冊ノートについては、今回自由記述の欄が加えられ、生徒が教材に対してどのように向き合ったのかや、学習を積み重ねた足あとから、生徒自身が成長を確かめることができるという意見が出されていた。

- 今説明した2者について、望ましいとの意見が多く出されていたことを、ご報告させていただきます。

■藤井教育長

- 何か質問等あるか。

(意見なし)

特別の教科 道徳終了，一般図書の説明へ

■堀切川小委員長（一般図書）

- 今年度新たに掲載された図書は8冊ある。「くらしに役立つソーシャルスキル」は、「自分のこと」「相手とのこと」「将来のこと」をテーマに、自分と社会との関連を考えたしながら知識および技能の習得が図られるよう工夫されている。また、社会生活で課題となる内容を必要に応じてイラストを活用するなど、網羅的に取り上げて、実生活に直結するよう工夫されている。
- 次に「いちばんわかりやすい小学生のための学習日本地図帳」。これは、各地方の地形や自然、観光や産業、代表的な文化等について、調べたり、まとめたりして活用できるよう構成されている。巻末になるが、カルタにできるよう工夫されている
- 次に同じシリーズで「学習世界地図帳」。こちらは先ほどのように、巻末に国旗や国の特徴をカルタにできるなど、工夫されている。
- 次に「改訂新版くらしに役立つ社会」は、「考えよう」、「調べよう」、「深めよう」のように学習過程を明確に示すことで、生徒が主体的に学習に取り組めるよう構成されている。カラーユニバーサルデザインの採用やUDフォントを使用している。
- 「さわる絵本ちびまるのぼうけん」。これは数や形に着目し、読み手に考えさせる工夫がされている。また物語形式になっていることから、触覚を使って主人公を探し当てるなど、工夫がされている。
- 次に「初級編ステップアップマッチングⅠ」では、数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質に気付き理解できるようにするとともに、視知覚、形を見るだけではなく、そのものが何であるか、そのものをどうつかんでいるか、そういったことをある程度つかめるような構成になっている。また、ワークシートを1枚ずつ剥がして使用できるよう工夫されている。
- 「どんどんめくってはっけん！からだのふしぎ」は、分かりやすいイラストが特徴的で、しかけをひらいたり、子どもが興味を持つように工夫されている。

○ 次に「でんじろう先生の学校の理科がぐんぐんわかるおもしろ実験」は写真や絵を主体に、簡単なコメントの解説により、楽しく学習を進めることができるよう構成されており、身近な道具を使って子どもが実験できるように工夫されている。

■藤井教育長

○ 何か質問等あるか。

(意見なし)

■藤井教育長

○ それでは、採択に入るので、委員長、副委員長の皆様は、ご退席願う。

(選定委員会 各小委員会 委員長・副委員長 退室)

■藤井教育長

○ それでは、令和7年度（2025年度）使用中学校用教科用図書採択に入る。

○ まずは、「国語」から始める。選定委員会では、東京書籍と教育出版であったが、いかがか。

■木村委員

○ 少しよろしいか。

■藤井教育長

○ はい。

■木村委員

○ 採択についてということだが、現行の教科書が候補に入っていた。今説明を聞いたが、現行の教科書が明らかにだめだというような意見がないうちは、使い慣れた教科書が、子どもにとっても教師にとってもいいのではないかと思った。現行の教科書を比較の軸として、意見の有無を確認していくと進めやすいのではないか。

■藤井教育長

○ 承知した。それでは国語については、国語と書写は同じ出版社の教科書が望ましいとの話があった。現行は教育出版であるとのことだが、国語科と書写については教育出版を採択してよいか。

(意見なし)

■藤井教育長

○ それでは国語科について、教育出版の教科書を採択する。

○ 併せて書写について、同じく教育出版の教科書採択する。

○ 次に社会科地理的分野だが、選定委員会では、教育出版と帝国書院が望ましいとのことであった。木村委員の意見に従えば、現行の教育出版ということだがいかがか。

■國谷委員

- 帝国の方が字が読みやすいと感じたが，肌感覚で言うことではないと思う。

■藤井教育長

- 他になにか意見等あるか。

(意見なし)

■藤井教育長

- では社会科地理的分野については教育出版の教科書を採択する。
- 次に地図であるが，選定委員会では東京書籍の帝国書院が望ましいとのことであった。現行は帝国書院ということだが，帝国書院の教科書を採択してよいか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 地図については，帝国書院の教科書を採択する。
- 次に社会科歴史的分野だが，選定委員会では帝国書院と日本文教出版が望ましいとのことであった。現行は日本文教出版である。ただし，小葉松委員のご指摘では，国立歴史博物館は実際にはまだ新しく，十分なものではないということで，写真として，見開きに渡って入れるということに関して懸念を示されていた。いかがだろうか。

■國谷委員

- 既存はどちらか。

■藤井教育長

- 現行は日本文教出版である。

■木村委員

- ご指摘があつてなるほどなと思ったが，子どもたちにとっては，北海道にあることを知って，例えば，修学旅行で行くとか，家族で行くとか，自分の目で確かめる。その内容がどうなのかということより子どもにとっていいんだろうなと思った。まったくわからない，北海道にあるかもわからないよりは，あるというだけの，お知らせというのは言い方が変だが，そういう考え方もあるのかなと私は思った。

■藤井教育長

- 木村委員は日本文教出版が良いと思われるということか。

■木村委員

- 先生方から駄目だという意見がなければ，日本文教出版がいいのではないかと考えている。

■藤井教育長

○ 他に意見ないか。

(意見なし)

■藤井教育長

○ では、小葉松委員の意見を踏まえたうえで、今回は日本文教出版を採択するということ
でいかがか。

(意見なし)

■藤井教育長

○ 社会科歴史的分野については日本文教出版の教科書を採択する。

○ 次に社会科公民的分野です。選定委員会では教育出版と日本文教出版が望ましいとのこ
とであったが、これについてはいかがか。

■國谷委員

○ 現行の教科書はどちらか。

■藤井教育長

○ 現行の教科書は日本文教出版である。いかがだろうか。

(意見なし)

■藤井教育長

○ 社会科公民的分野については、日本文教出版の教科書を採択してよろしいか。

(意見なし)

■藤井教育長

○ 社会科歴史的分野については日本文教出版の教科書を採択する。

○ 次に数学については、選定委員会では東京書籍と啓林館が望ましいとのことであつた
が、いかがか。

(意見なし)

■藤井教育長

○ よろしいか。では数学については、現行の東京書籍の教科書を採択してよろしいか。

(意見なし)

■藤井教育長

○ では、数学科については東京書籍の教科書を採択する。

○ 次に理科については、選定委員会では東京書籍と啓林館が望ましいとのことであつた。
現行は東京書籍であるがいかがか。

(意見なし)

■藤井教育長

- それでは東京書籍の教科書を採択することとしてよいか。

(意見なし)

■藤井教育長

- それでは理科については東京書籍の教科書を採択する。
- 次に、音楽一般であるが、選定委員会では、教育出版と教育芸術が望ましいとのことであった。また音楽一般は、器楽合奏同じ出版社の教科書が望ましいとの意見があったところである。現行は音楽一般、器楽合奏ともに教育出版であるがいかがか。

(意見なし)

■藤井教育長

- では、教育出版の教科書を採択してよろしいか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 音楽一般および音楽一般、器楽合奏については、教育出版の教科書を採択する。
- 次に美術科だが、選定委員会では開隆堂と日本文教出版が望ましいとのことであった。現行は日本文教出版であるが、いかがか。

(意見なし)

■藤井教育長

- では、日本文教出版の教科書を採択してよろしいか。

■藤井教育長

- 美術科については日本文教出版の教科書を採択する。
- 次に保健体育科だが、選定委員会では、大修館と学研が望ましいとのことであった。小葉松委員からは、大修館の教科書の性の多様性についての記述についてご指摘があったところである。現行は学研の教科書だが、いかがだろうか。

■木村委員

- 先生方も、委員の言うとおりでというように言われていた。

■藤井教育長

- では、保健体育科については学研の教科書を採択してよろしいか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 保健体育科については学研の教科書を採択する。
- 次に、技術家庭であるが、技術分野と家庭分野は、同じ出版社の教科書の方がよいとのことであった。現行は開隆堂で、東京書籍と開隆堂が望ましいとのことであったがいかか。

(意見なし)

■藤井教育長

- それでは、開隆堂の教科書を採択してよろしいか。

(意見なし)

■藤井教育長

- では技術家庭、技術分野、家庭分野については開隆堂の教科書を採択する。
- 次に英語科であるが、選定員会では東京書籍と開隆堂が望ましいとのことであった。現行は東京書籍であるが、いかかか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 東京書籍の教科書を採択してよろしいか。

■藤井教育長

- 英語科は東京書籍の教科書を採択する。
- 次に特別の教科 道徳だが、選定委員会では東京書籍と日本文教出版が望ましいとのことであった。現行は日本文教出版でだがいかがだろうか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 日本文教出版の教科書を採択してよろしいか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 特別の教科 道徳については日本文教出版の教科書を採択する。
- 次に、一般図書であるが、望ましいとすることで説明があった8冊について、全ての一般図書を採択してよろしいか。

(意見なし)

- 一般図書については添付の教科用図書一覧に記載されている全ての一般図書を採択す

る。

- 次に、日程第12「今後の主な日程について」管理課長から報告を求める。

■管理課長

- 第9回教育委員会定例会を9月24日（火）午前中で調整している。
- その他の日程として、8月22日（木）、令和6年度北海道都市教育委員会連携協議会定期総会が8月22日（木）に北見市で開催される。

■藤井教育長

- これで、報告事項を終了する。

■終了宣言

- 午後4時48分

議事録署名人 木村雅彦

〃 小葉松洋子

調製者庶務係 庭田真由